

多胎育児家庭は、妊娠期から外出困難・情報不足となり、孤立しやすい家庭だと言われています。また産後も母体の回復の遅れに加え、2人以上の乳児の世話による過酷な育児で疲労し、外出も困難となり、社会的孤立・育児困難に陥りやすい家庭です。このため、多胎家庭では単胎家庭に比べて、虐待死の発生頻度が2.5～4倍高まると言われていますが、多胎家庭に関わる医療専門職や行政にも、こうした現状はあまり知られていません。多胎家庭の現状が理解され、地域の多胎支援ネットワークを含む多職種連携やそれぞれの立場でできる多胎支援について考え、各地で多胎支援事業が推進されることを目的に、フォーラムを開催します。

一般社団法人日本多胎支援協会

第14回全国フォーラム

～つなげよう!ひろげよう!ふたご育児支援の輪～

2024年 11月 17日(日)
9時30分～12時30分(受付9時～)



会場

自治医科大学 看護学部 (栃木県下野市薬師寺 3311-159)
(※オンライン配信・アーカイブ配信は致しません)

対象者

医師、保健師、助産師、看護師、保育士、子育て支援関係職員、
子育て支援団体関係者、多胎家庭の方、多胎支援に関心のある方

プログラム

- | | |
|---------------|--|
| 09:00 ~ 09:30 | 受付 |
| 09:30 ~ 09:45 | 開会
挨拶：主催者、来賓 |
| 09:45 ~ 10:25 | 基調講演
『多胎支援の必要性とピアサポートの効果』太田ひろみ
(日本多胎支援協会理事/医療創生大学看護学部特任教授) |
| 10:25 ~ 10:30 | 休憩 (パネルディスカッション準備) |
| 10:30 ~ 12:00 | パネルディスカッション
コーディネーター：太田ひろみ
糸井川誠子(日本多胎支援協会理事/NPO 法人ぎふ多胎ネット理事長)
パネリスト(予定)：子ども家庭庁、栃木市、とちぎ多胎ネット |
| 12:00 ~ 12:15 | 質疑応答 |
| 12:15 ~ 12:30 | 閉会
挨拶：助成元(公益財団法人SBI子ども希望財団)、協力団体、来年度開催地協力団体 |

申し込み方法

QRコードを読み込み
専用フォームより
お申し込みください



【主催】一般社団法人日本多胎支援協会 (JpMBA: Japan Multiple Births Association)

〒651-2242 兵庫県神戸市西区井吹台東町 3-2-8-202

TEL & FAX : 078-992-0870

HP : <http://www.jamba.or.jp/> MAIL : jamba@jamba.or.jp

代表理事：志村恵 (公立小松大学副学長)

お子さん
連れの方
に



親子同室参加ができます

お子さんを連れて参加される方は、別部屋で視聴が可能です。
遠隔での視聴になるため、映像が途切れる可能性がありますので
ご了承ください。

※託児ではありません。授乳室・子ども用トイレはありません。

ランチ交流会を開催します

NPO法人とちぎ多胎ネット主催にて、フォーラム
終了後にランチ交流会を開催します。
参加希望される方は、右のQRコード
からお申し込みください。



問い合わせ先

NPO 法人とちぎ多胎ネット 南部裕子

TEL : 090-2478-7670 MAIL : tochigi.tatai@gmail.com

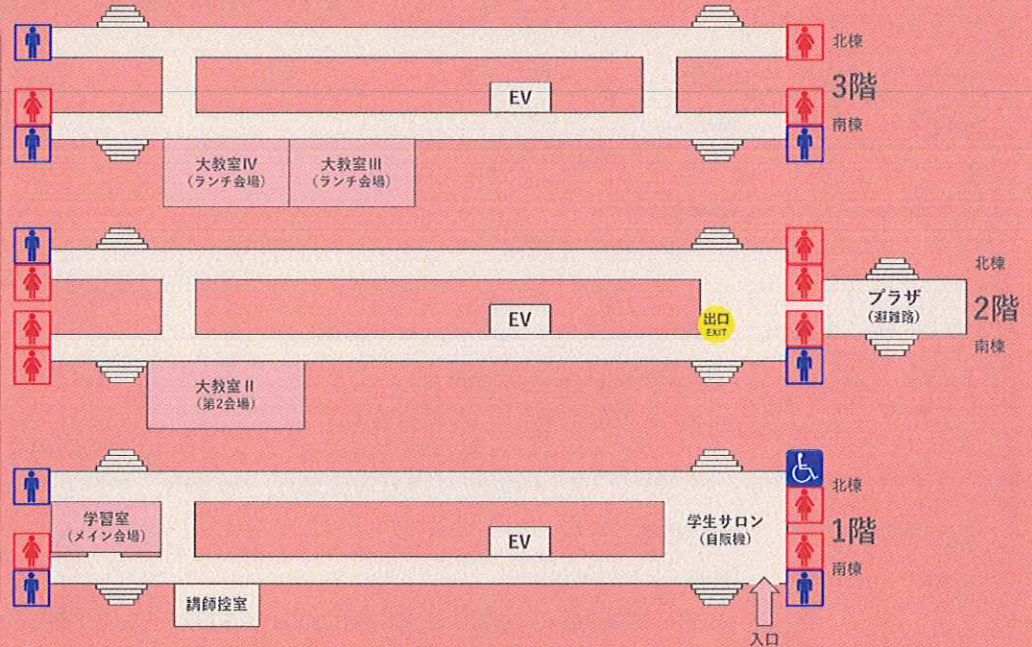
交流会
開催



アクセス



会場案内図



公共交通機関でお越しの方へ

JR 宇都宮線「自治医大」駅東口下車、徒歩 15 分

※東北新幹線を利用する場合は

【東京方面から】

小山駅で下車

(東京駅から小山駅まで新幹線で約 40 分)

【東北方面から】

宇都宮駅で下車

JR 宇都宮線に乗り換え自治医大駅で下車

車でお越しの方へ



【助成】公益財団法人SBI子ども希望財団

【支援(申請中)】子ども家庭庁、栃木県、自治医科大学、社会福祉法人栃木県社会福祉協議会、下野新聞社、一般社団法人栃木県助産師会、公益社団法人栃木県看護協会

【協力団体】NPO法人とちぎ多胎ネット、自治医科大学看護学部、一般社団法人栃木県助産師会、ふたご@鹿沼、矢板多胎サークルあっぷるず、..TWIN ZOO...、NPO法人そらいろコアラ